

令和 7 年度

第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

提出日	R7.6.23
課題名	政策推進課
グループ名	地方創生室グループ
記入者名	

1 事業概要

(1)事業名	ひとづくり×SDGsプロジェクト推進事業費	(2)事業種別 (新規・継続)	継続	(3)事業性格 (政策・一般)	政策事業
(4)第5次総合振興計画での位置づけ	(5)予算・財源等の別				
①基本目標	人が輝くまち(参加と協働の推進)	①会計区分	一般会計		
②大項目	協働・共助	②財源区分	町単独		
③中項目	町民参加の充実	③予算科目	款	2	項 1 目 6
④施策	官民連携	④予算事業名	ひとづくり×SDGsプロジェクト推進事業費		
⑤施策コード	1.2.2.2	掲載ページ	23	ページ	
(6)実施根拠	(7)総合戦略				
①事務分類(自治・法定受託)	自治事務	①総合戦略 (該当事業名)	ひとづくり×SDGsプロジェクト推進事業費		
②根拠法令・条例等	地域再生法	終了	未定	年	月まで
③事業期間	開始	令和2	年	4	月から

2 事業の目的・内容等

(1) 目的(何のために行うか)				(2) 内容(どのような取り組みか)			
第2期総合戦略で掲げる「人口減少に負けない魅力あるまちづくり」という将来像の実現に向けて、まちづくり・地域活性化等に主体的に取り組む民の活動を支援する。また、町の魅力や情報等を町内外問わず広く発信することで、町の活性化を促進する。				地域課題解決やまちづくり等に関わる人材の育成や住民参加型のイベント等の企画・実施に対し、その取り組みを支援する。また、若い世代を積極的に取り組むため、大学生等との連携した取り組みを推進するとともに、LINEアカウント「小川町情報スモリバ」によって、町の魅力や情報を広く発信する。			
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)				(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)			
まちづくり、地域活性化等に主体的に取り組む、本町の将来を真剣に考える意欲のある人材(町外在住者も含む)				積極的にまちづくりに参画する人が増えることで、様々な人の知恵や発想により調和のとれたまちづくりが推進され、人口減少や少子高齢化に負けない持続可能性のある町となる。			
対象数		小川町情報スモリバ友だち数		単位		人	

(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)

本町では、若い世代の転出や少子高齢化が顕著であり、まちづくりに参画する人材育成や地域活性化に取り組むことで、関係人口の増加やまちのにぎわいを生み出し、持続可能性のあるまちづくりが求められている。

(6)SDGsへの貢献



3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)

(1)事業(内容)名称		ひとづくり×SDGsプロジェクト推進事業費				
項目	決算・予算年度	R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費内訳	委託料	3,900	3,500	0	0	0
	負担金補助及び交付金	1,617	3,070	400	447	300
	役務費	0	0	652	907	1,124
		0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	直接事業費合計	5,517	6,570	1,052	1,354	1,424
(3)財源内訳	国庫支出金	4,481	3,284	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	1,036	3,286	1,052	1,354	1,424
	合計	5,517	6,570	1,052	1,354	1,424
(4)補助金名	デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)					-
(5)人件費	投入職員数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	年間人件費	3,814	3,771	3,761	3,886	4,016
(6)総事業費		9,331	10,341	4,813	5,240	5,440
	サービス量(人)	1,606	9,042	13,411	13,866	13,866
	サービス単価	5.8	1.1	0.4	0.4	0.4
(単位)	千円/小川町情報スモリバ友だち数1人あたり					

4 指標の検証				ひとづくり×SDGsプロジェクト推進事業費		
指標名		単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算	
(1) 活動指標(実施した事業の量)						
指標名	補助金交付団体数	目標値	団体	3	3	3
		実績値	団体	4	4	
		達成率	%	133.3	133.3	
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(2) 成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	小川町情報スモリバ友だち登録者数	目標値	人	9,500	14,000	14,000
		実績値	人	13,411	13,866	
		達成率	%	141.2	99.0	
		目標値				
		実績値				
		達成率				
(3) その他指標に現れない成果						
町内外を問わず町の情報や魅力を発信、大学生等の若者の活動等の支援によって、当町に興味関心を寄せる関係人口の創出につながったものと考えられる。						
5 事業評価						
(1) 項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	3	1 事業の実施が関係法令等で定められている 2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である 3 その他(町の情報発信が効果的にできている。補助制度については関係人口創出に繋がっている。)	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	3	1 事業の主体が関係法令等で定められている 2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である 3 その他(住民や若い世代等の幅広い人が主体となっている。)	
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している 2 他に有効な代替手段が見当たらない 3 その他()	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している 2 サービス単価を維持している 3 その他()	
公平性	受益者の偏り	2	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている 2 おおむね公平に分配されている 3 その他()	
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	2	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている 2 成果指標は、前年度より向上している 3 その他()	
進捗度	事業の進捗	1	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	1	1 年度内に予定した事業は完了した 2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した 3 その他()	
(2) 総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
LINEアカウント小川町情報スモリバの登録者数は、令和5年度実施のスモリバクーポン終了後の登録者は増えているものの年間450件程となっている。しかし、町の情報の発信媒体として13,000人を超える登録者がおり、効果的に町の魅力や出来事を知ってもらえる機会になっている。また、大学生等の若い世代の活動費補助金は、若い世代が小川町をフィールドに地域課題や魅力の掘起しなどに携わる良い機会となっており、関係人口の拡大に寄与していると考ええる。						
6 事業の方向性の判断				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合		
評価主体	評価	評価についての説明				
(1) 一次評価 (担当課長)	2 現状維持	引続き町の情報発信や関係人口の創出は、地域活性化に欠かせないと考ええる。				
(2) 二次評価 (政策推進課長)						
(3) 最終評価 (町長)						